

ヒオモン水溶剤による リンゴ「ふじ」のつる割れ軽減と使用上の留意点

福島県農業総合センター 果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹－その他－収穫

2 担当者

斎藤祐一、額田光彦、阿部和博、湯田美菜子

3 要旨

リンゴ「ふじ」に対するヒオモン水溶剤の散布は、つる割れの軽減効果が期待できるが、果実肥大を抑制する場合があることから、使用に当たっては十分注意すること。

(1)2008年～2014年にヒオモン水溶剤を満開後20日～30日に3000倍で散布したところ、果実肥大が抑制されるほどつる割れ軽減効果が高った。無処理区に対してつる割れ率は平均で65.5%減少し果実肥大の抑制程度は最大で15%程度であった(図1)。

(2)硬度及び糖度等の他の果実品質に及ぼす影響は認められなかった(表1)。

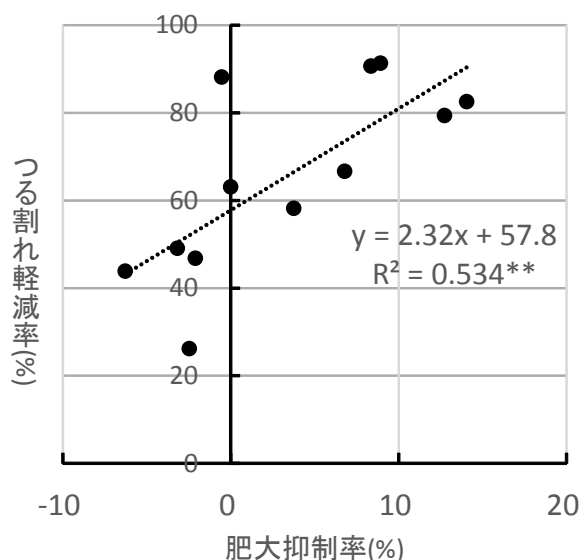


表1 ヒオモン散布によるふじのつる割れ軽減効果(2014年)
(ふじ/JM台)

試験区	つる割れ率 (%)	着色度 (CS値)	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (° Brix)	リンゴ酸 (%)
ヒオモン区	1.0	202.9	371.8	12.7	16.5	0.50
無処理区	11.5	199.9	408.2	12.7	16.3	0.49
F値	50.0	0.6	22.1	0.0	0.3	0.03
有意性	**	ns	**	ns	ns	ns

図1 ヒオモン水溶剤散布による収穫時のつる割れ軽減と果実肥大抑制との関係(2008年～2014年)

肥大抑制率(%): 無処理区に対する果重減少の割合

つる割れ軽減率(%): 無処理区に対する軽減の割合

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成20年度～26年度

(2) 研究課題名 果樹の安定生産を支援する発育予測技術の構築及び生育障害対応技術の確立(生育障害対応技術の確立)

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

リンゴ・ふじのこうあ部裂果および内部褐変の発生機構および発生抑制に関する研究
(2012年 葛西智)